

第二期長野市子ども・子育て支援事業計画 計画全体の評価及び個別事業の令和5年度の点検・評価 報告書

1 第二期長野市子ども・子育て支援事業計画の概要

(1) 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

(2) 計画の概要

ア 基本理念

すべての子育てが喜びとなり すべての子どもが健やかに成長するために
 ～わくわく子育て すくすく子ども～

イ 基本的な視点

- 子どもの最善の利益が実現される社会を目指す
- 全ての子どもの健やかな育ちを支援する
- 連続性を踏まえた発達を支援する
- 親としての成長を支援する
- 社会全体で子どもの育ち及び子育てを支え合う

ウ 基本目標及び施策体系

基本目標		基本施策		個別施策
I	結婚や子育てが楽しいと思える支援をする	①	結婚の支援	基本施策ごとに個別施策を設定 【個別施策数：27】 個別施策ごとに主な事業と関連事業を位置付け 【主な事業数：96】 (中間見直しにより2事業追加) 【機能を兼ねて指標を設定した事業】 こども総合支援センター あのえっと
		②	妊娠・出産期の支援	
II	子どもが健やかに育つよう子育て・子育てを支援する	③	幼児期の教育・保育環境の整備	
		④	幼児期の教育・保育の質の確保と向上	
		⑤	障害児支援の充実	
III	子どもと保護者がともに成長するため子育て家庭・保護者を支援する	⑥	乳幼児期から思春期までの子育て支援の充実	
		⑦	社会的支援を必要とする子どもと家庭への支援の充実	
		⑧	児童虐待防止対策の充実	
IV	地域で子どもが安心して過ごせるよう社会全体で子どもの育ち・子育てを支援する	⑨	地域における子育て支援の推進	
		⑩	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の促進	

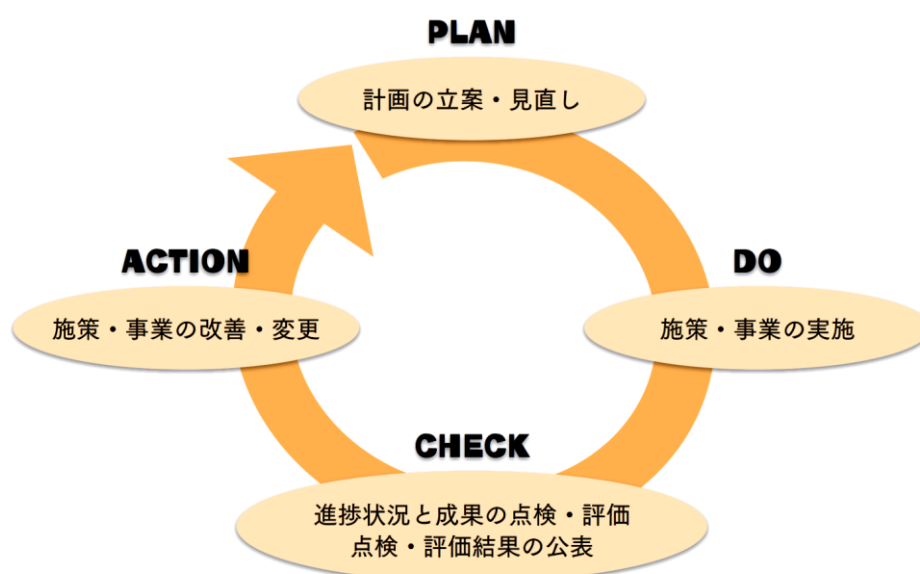
エ 量の見込みと確保方策

幼児期の『教育・保育事業』及び『地域子ども・子育て支援事業』について、提供区域を設定した上で、計画期間5年間の「量の見込み」と「確保方策」を設定

- 量の見込み：利用に関するニーズ量（＝需要量）
- 確保方策：量の見込みに対応する確保の内容（＝定員等の供給量）とその実施時期

2 点検・評価の趣旨

計画を着実に推進していくため、長野市版子ども・子育て会議である長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会において、各事業の実施状況について、毎年度、点検・評価を行い、点検・評価の結果は公表して施策・事業の改善につなげていくこととしています。令和6年度は、令和5年度実績の点検・評価と計画全体の評価を行います。



[計画の見直し及び全体の評価について]

令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
	○令和2年度実績の点検・評価	○令和3年度実績の点検・評価	○令和4年度実績の点検・評価	○令和5年度実績の点検・評価
		○事業や目標値等の見直し ○「量の見込み」等の中間見直し	○市民アンケート調査（ニーズ調査）実施	○計画全体の評価（成果指標の達成状況の評価）

令和6年度は、令和5年度の点検・評価を行うと同時に、令和5年度に実施した市民アンケート調査（ニーズ調査）の結果を踏まえ、成果指標の達成状況等計画全体の評価を行い、次期（第三期）計画の策定に反映させることとします。

3 計画全体の評価

(1) 成果指標について

子育てが喜びとなっている状況について、「親が子育てに不安や負担を抱えながらも、子どもの健やかな成長を願いつつ、家族や親せきをはじめ、周囲の人たちの支えや理解・協力を得ながら、楽しく子育てをしている状況」とし、また、親が過度に不安や負担を感じている状態は、子どもの健やかな成長や子どもを産み育てることへの希望にも影響すると考え、本計画の成果を評価するための成果指標を次のとおり設定しています。

- 指標1 子育てが「楽しい」と感じる保護者の割合
- 指標2 子育てに「とても不安や負担」を感じる保護者の割合
- 指標3 合計特殊出生率（一人の女性が平均して一生の間に何人の子どもを産むかを表す数値）

(2) 計画全体の評価

- 子育ての楽しさについて、就学前児童の保護者は、「とても楽しい」、「まあ楽しい」が策定時に比べて増加している一方、「あまり楽しくない」も増加しています。また小学生の保護者は、「とても楽しい」が策定時に比べて減少し、「まあ楽しい」、「あまり楽しくない」が増加しています。
- 子育ての負担感について、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに、策定時に比べて「とても感じている」、「ある程度感じている」が増加しています。
- 合計特殊出生率は、平成30年(策定時)の1.51から令和4年(直近値)は1.41に減少しました。

※ 子育て世帯の保護者を対象としたアンケート調査の回答から、策定時の値と現状値(直近値)を把握し、比較を行いました。

策定時…平成30年度に実施した、長野市子ども・子育て支援に関するアンケート調査
(第二期計画策定に係るニーズ調査)

直近値…令和5年度に実施した、長野市子ども・子育て支援に関するアンケート調査
(第三期計画策定に係るニーズ調査)

(3) 成果指標の達成状況

【指標1 子育てが「楽しい」と感じる保護者の割合】

指標である「とても楽しい」と「まあ楽しい」の回答を合計した割合は、就学前児童の保護者の直近値は94.3%で策定時に比べて4.2ポイント増加、小学生の保護者の直近値は90.7%で策定時に比べて4.8ポイント増加しています。

内訳を見ると、「とても楽しい」と回答した割合が、就学前児童の保護者で39.3%から41.2%に1.9ポイント増加、小学生の保護者で32.1%から27.9%に4.2ポイント減少し、「まあ楽しい」と回答した割合が、就学前児童の保護者で2.3ポイント、小学生の保護者で9.0ポイント増加しています。「どちらとも言えない」と回答した割合がそれぞれで減少しています。

対象	策定時の値 (平成30年度)	直近値 (令和5年度)	目標値 (令和5年度)	達成状況
就学前児童の保護者	90.1%	94.3%	91.0%以上	達成
小学生の保護者	85.9%	90.7%	86.0%以上	達成

【指標2 子育てに「とても不安や負担」を感じる保護者の割合】

子育てに負担を「とても感じている」と回答した割合は、就学前児童の保護者では5.1%から8.2%に3.1ポイント増加、小学生の保護者では5.1%から9.6%に4.5ポイント増加しています。また、「ある程度感じている」と回答した割合も、就学前児童の保護者、小学生の保護者それぞれで増加しています。一方で、「どちらともいえない」と回答した割合がそれぞれで大幅に減少しています。

対象	策定時の値 (平成30年度)	直近値 (令和5年度)	目標値 (令和5年度)	達成状況
就学前児童の保護者	5.1%	8.2%	5.0%以下	未達成
小学生の保護者	5.1%	9.6%	5.0%以下	未達成

【指標3 合計特殊出生率】

平成29年（策定時）の1.56から下がり続け、国の1.26は上回っていますが、人口維持に必要な2.07、県の1.43を下回っている状況です。

策定時の値 (平成29年度)	直近値 (令和4年度)	目標値 (令和4年度)	達成状況
1.56	1.41	1.65以上	未達成

4 点検・評価の内容、実施方法

点検・評価は次の項目について行います。

(1)	個別施策に位置付ける主な事業（個別事業）の実施状況
(2)	幼児期の教育・保育事業と地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」の進捗状況

(1) 個別事業の実施状況の点検・評価

中間見直しにおいて2事業を追加した個別事業 96 事業の実施状況については、実績数値の評価に加えて、数値だけでは把握できない部分について施策を推進する過程や内容の評価を行うこととし、次の①～⑤について点検・評価を行います。

①事業の進捗状況

[指標を定めている事業]

個別事業96事業のうち61事業（中間見直しにより1事業追加）に指標を定めています。複数の指標を定めた事業があるため、指標数は計81指標（中間見直しにより1指標追加）あります。この81指標について、令和5年度実績値の目標値に対する進捗率に応じて、4段階で評価します。

進捗率の計算式： $\{(実績値 - 基準値) \div (目標値 - 基準値)\} \times 100\%$

A	順調に進み目標値に近づいているまたは目標値を達成している (進捗率75%以上)
B	Aには達しないものの基準値より上昇している (進捗率0%超75%未満)
C	基準値と同じ(進捗率0%)
D	基準値から後退している(進捗率がマイナス)

[指標を定めていない事業]

個別事業96事業のうち指標を定めていない35事業（中間見直しにより1事業追加）については、事業自体の進捗状況を4段階で評価します。

A	計画以上に進んでいる
B	計画どおり順調に進んでいる
C	計画どおりに進んでいない
D	計画より遅れている

②令和5年度の実施状況

③令和5年度決算額（参考として令和5年度予算額を記載）

④令和5年度の実施の成果、課題

⑤今後の実施の方向性

(2) 「量の見込み」と「確保方策」の進捗状況の点検・評価

教育・保育事業の令和5年度の「量の見込み」の実績及び「確保方策」の進捗状況を把握し、点検・評価を行います。

個別事業の進捗状況

(1) 指標の進捗状況

	A	B	C	D	—	計
基本目標 I	1 50%	1 50%	0 —	0 —	0 —	2
基本目標 II	14 50.0%	5 17.9%	1 3.6%	8 28.5%	0 —	28
基本目標 III	14 46.7%	5 16.7%	1 3.3%	10 33.3%	0 —	30
基本目標 IV	4 19.0%	3 14.3%	1 4.8%	13 61.9%	0 —	21
計	33 40.7%	14 17.3%	3 3.7%	31 38.3%	0 —	81

上段：指標数 下段：指標数の割合（小数点以下第2位で四捨五入）

81指標のうち、Aが33指標（40.7%）、Bが14指標（17.3%）で、これら47指標（58.0%）で基準値よりも上昇しています。

Dが31指標（38.3%）あり、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を実施しなかったものがなくなりました。

（参考）令和4年度（一昨年度）の進捗状況

	A	B	C	D	—	計
基本目標 I	0 —	2 100%	0 —	0 —	0 —	2
基本目標 II	15 53.6%	1 3.6%	0 —	11 39.2%	1 3.6%	28
基本目標 III	15 50.0%	5 16.7%	0 —	10 33.3%	0 —	30
基本目標 IV	7 35.0%	0 —	0 —	13 65.0%	0 —	20
計	37 46.2%	8 10.0%	0 —	34 42.5%	1 1.3%	80

上段：指標数 下段：指標数の割合（小数点以下第2位で四捨五入）

令和4年度（一昨年度）との比較では、Aが4指標減少、Bが6指標増加、Cが3指標増加、Dが3指標減少しました。

(2) 指標を定めていない事業の進捗状況

	A	B	C	D	計
基本目標 I	3 100.0%	0 -	0 -	0 -	3
基本目標 II	6 33.3%	10 55.6%	2 11.1%	0 -	18
基本目標 III	6 60.0%	4 40.0%	0 -	0 -	10
基本目標 IV	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 -	4
計	16 45.7%	16 45.7%	3 8.6%	0 -	35

上段：事業数 下段：事業数の割合（小数点以下第2位で四捨五入）

指標を定めていない35事業のうち、A、Bが16事業ずつで、これら32事業で計画以上または順調に進んでいます。3事業がCで、Dの事業はありませんでした。

(参考) 令和4年度（一昨年度）の進捗状況

	A	B	C	D	計
基本目標 I	1 33.3%	2 66.7%	0 -	0 -	3
基本目標 II	6 33.3%	10 55.6%	2 11.1%	0 -	18
基本目標 III	6 66.7%	2 22.2%	1 11.1%	0 -	9
基本目標 IV	0 -	3 75.0%	1 25.0%	0 -	4
計	13 38.2%	17 50.0%	4 11.8%	0 -	34

上段：事業数 下段：事業数の割合（小数点以下第2位で四捨五入）

令和4年度（一昨年度）との比較では、Aが3事業増加、B、Cは1事業ずつ減少となりました。

個別事業の実施状況

別紙1のとおり

量の見込みの実績と確保方策の進捗状況

別紙2のとおり